

～メキシコ留学日記 12月号～

見山達哉

新年あけましておめでとうございます！本年度も留学レポートを読んでいただけると嬉しい限りでございます。さて、12月は長期休暇を利用して再度オアハカ州を旅行いたしました。オアハカ州はとても広いため、歴史地区、Hierve el Agua（イエルベ・エル・アグア）、Monte Albán（モンテ・アルバン遺跡）以外にもたくさん見所があります。前回オアハカ旅行の際に、中心部から少し離れている教会へ訪れたのですが、豊かな自然と素朴な街並み、そして優しい人々が非常に印象に残ったため、さらオアハカを知りたいと思い再度旅行することにしました。今回の旅行では、オアハカの中心部のから約140km程離れている San José del Pacífico（サン・ホセ・デル・パシフィコ）という小さな集落を訪れました。

今回のレポートでは San José del Pacífico（サン・ホセ・デル・パシフィコ）の魅力・新たに発見したオアハカの伝統料理の情報について書きたいと思います。

San José del Pacífico

San José del Pacífico（サン・ホセ・デル・パシフィコ）はオアハカ州の山の上にある小さな集落です。オアハカ中心部とオアハカ沿岸部に位置し、サーフィンのメッカとして知られている Puerto Escondido（プエルト・エスコンディード）を結ぶバンの道の途中で下車することができます。決してアクセスがいい場所とは言えないのですが、山の上からみる景色がとても美しいと有名なため、田舎にも関わらず多くの欧米人バックパッカーを集落の至るところで見かけました。

その中でも、La Cumbre（ラ・クンブレ）という宿が1番有名であり、その宿のテラスから眺める景色がとても美しいとのことでしたので、私もそこに泊まりました。実際に、宿のテラスから見る景色は息を飲むほど美しかったです。山々に雲海が広がり、雲がせわしなく動くので、時間ごとに違った顔を見ることができます。特に、夕暮れ時の景色がとても美しく、他の宿泊者も夕暮れ時にはみんなテラスに出てきて、静かに夕日を眺めていたのがとても印象的でした。

また集落はとてものんびりした雰囲気、落ちついた時間を過ごすことができました。素朴な民家が点々としており、庭ではヤギやニワトリを飼っていました。メキシコ原風景を垣間見ることができ、さらにメキシコを知れたような気がして嬉しかったです。



（テラスから見た景色）

Caldo de Piedra

オアハカでは伝統料理の Caldo de Piedra (カルド・デ・ピエドラ) を食べました。Caldo de Piedra (カルド・デ・ピエドラ) とは直訳すると石のスープです。魚介や野菜の入ったスープに熱々の石を放り込んで煮込む料理です。味はグツグツと煮えたぎったスープの見た目からは想像のつかないほど素材の繊細な味がしました。皆さまもオアハカへ訪れた際はぜひとも試していただきたいです。

今回のレポートはここまでとなります。それではまた、¡Hasta luego!



(Caldo de Piedra)



(のどかな集落)



(中に入っている石)